



クリーンアップ。 ひぬま

Vol.40
2019.9

ネットワークだより

<http://www.hinuma-network.jp>

令和元年度 ひぬま流域クリーン作戦を実施しました

令和元年7月13日(土)、「ひぬま流域クリーン作戦」を実施しました。当日は、朝早くからの実施にもかかわらず、本ネットワーク会員をはじめ、酒沼流域の団体・事業所の皆様、地元住民・生徒の皆様のほか、水戸ホーリーホックのホーリーくん、茨城ロボッツのロボスケ・選手・チアの方々にもお越しいただき、総勢609名の方に御参加いただきました。酒沼自然公園駐車場において、谷萩会長、チャレンジいばらき県民運動の幡谷理事長、茨城町の小林町長の挨拶の後、酒沼自然公園から親沢公園方面コース(約3.5km)、広浦公園コース(約4.0km)、公園外周コース(約3.0km)、若宮方面コース(約4.0km)の4コースに分かれて、沿道や湖畔のゴミ拾いを行いました。

清掃活動の結果、総重量140kgのゴミを回収しました。また、昨年度に引き続き、日本釣用品工業会による水中の清掃が行われました。

近年、参加した方々から「ゴミが少ない」との感想が多く寄せられています。これは、御参加いただいた皆様をはじめとした「美しい酒沼を守りたい」という活動の輪が広がったことによる成果ではないでしょうか。

当ネットワークは今後も酒沼の水質浄化に向けた活動を実践してまいりますので、引き続き御協力をお願いいたします。お忙しい中御参加いただき、誠にありがとうございました。

なお、来年度から、同クリーン作戦は熱中症対策を考慮し6月の実施を予定しています。



開会式



御参加いただいた団体・事業所

(※敬称略・順不同)

- チャレンジいばらき県民運動ネットワーク
- (株)フットボールクラブ水戸ホーリーホック
- イオンリテール(株)イオン笠間店
- 東京海上日動火災保険(株)茨城自動車営業部
- (株)山本清掃
- 新生環境警備(株)
- 板橋精機(株)
- さわかエコの会
- 茨城ボランティアU.D.監視員
- はつらつサークル
- 社会福祉法人勇成会
- 茨城県立茨城東高等学校
- (公社)いこいの村酒沼
- ラムサール条約登録湿地ひぬまの会
- (株)茨城ロボッツ・エンターテイメント
- (株)ニコン水戸製作所
- 茨城県信用金庫
- 茨城北研(株)
- 富士企業(株)
- (有)玉里クリーン
- (株)エディファミリー
- ひぬま生態系再生プロジェクト
- 大洗くらしの会
- 茨城町立明光中学校
- 県立児童センターこどもの城
- 大酒沼漁業協同組合
- イオンタウン水戸南
- (株)常陽銀行
- J A 茨城県中央会
- (株)フジクリーン茨城
- 勝田環境(株)
- 自然観察クラブ
- NPOエチオピア未来の子供
- 茨城町民会議
- 大洗町食生活改善推進員連絡会議
- 茨城町立青葉中学校
- (公社)茨城県水質保全協会
- 日本ゲージ

御協力ありがとうございました

令和元年度 定期総会を開催しました



令和元年度定期総会



水質浄化啓発講演会

令和元年5月21日(火)、いこいの村 湖沼(銚田市)において、令和元年度の定期総会を開催いたしました。

総会では、平成30年度事業報告・決算報告、令和元年度事業計画案・予算案について審議が行われ、全ての議案が承認されました。

講演会では、茨城大学大学院理工学研究科准教授 藤田 昌史氏から、「ヤマトシジミから見た湖沼」というテーマで、ヤマトシジミに適した水質環境の評価と保全に関する研究などの御講演をいただきました。

今年度は、引き続き以下の事業を実施してまいります。皆様の御参加をよろしくお願いいたします。

〈 令和元年度 事業計画 〉

広報啓発事業

- ① 水質浄化ポスターの募集及び展示
- ② ひぬまフォトコンテストの実施
- ③ 広報紙の発行(年2回)
- ④ ホームページの運営
- ⑤ ひぬま環境フォーラムの実施
(※11/24(日)開催予定)
- ⑥ 水質浄化キャンペーン
(※流域市町単位で実施)



実践活動事業

- ① ひぬま流域クリーン作戦の実施
- ② ひぬま流域ウォッチングの実施
- ③ 環境イベント等への参加
- ④ 水質浄化功労者の表彰
- ⑤ 一斉清掃活動の実施
(※流域市町単位で実施)
- ⑥ 学校における環境学習活動への支援



クリーンアップひぬまネットワーク新副会長・新理事の御紹介

令和元年度クリーンアップひぬまネットワーク総会において、新たに当ネットワークの副会長に選任された茨城大学の阿部 信一郎教授、理事に選任された郡司 晴元准教授の御紹介をさせていただきます。



副会長 阿部 信一郎氏

経歴 平成7年3月より農林水産省水産庁水産研究所および水産総合研究センターで勤務した後、平成26年10月より茨城大学教育学部人間環境教育教室の教授として現在に至る。水産学博士、専門は藻類生態学。

コメント 湖沼との出会いはヤマトシジミの研究を始めたことがきっかけでした。首都圏の近くにこんな大きなシジミが生息する豊かな湖があることに驚きました。今後、私たちと湖沼の関わり方について考えていければと思います。

理事 郡司 晴元氏

経歴 大学・大学院では自然人類学・霊長類学を学び、地域では野外教育・自然体験系環境教育に携わってきました。茨城大学教育学部には環境教育で採用され、近年は大辻元前理事の抜けた穴を埋めるべく科学教育・理科教育を勉強しています。

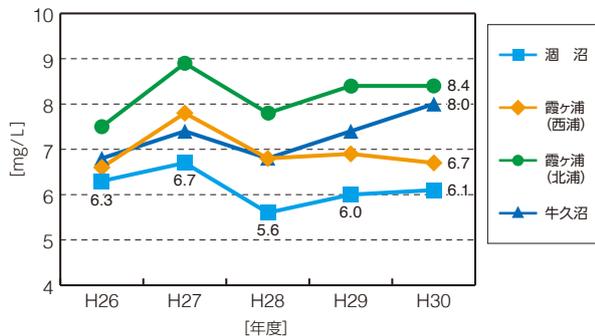
コメント 霞ヶ浦(北浦)の流域に生まれ育ち、正直なところ、湖沼との接点はありませんでした。茨城大学着任後、湖沼・霞ヶ浦を使ったかつての水運ルートを知り、湖沼と霞ヶ浦が自分の中でつながりました。



平成30年度涸沼の水質・涸沼流入河川の水質について

～茨城県県民生活環境部環境対策課～

涸沼及び県内湖沼のCOD (年平均値)



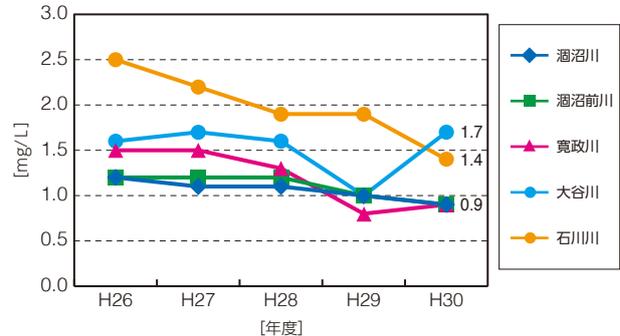
平成30年度の涸沼の水質については、COD^(※1)が6.1mg/Lであり、平成29年度と比較すると上昇しましたが、長期的には横ばいです。

なお、霞ヶ浦は西浦で6.7mg/Lと北浦で8.4mg/L、牛久沼は8.0mg/Lでした。

※1 COD (化学的酸素要求量) とは… 湖や海の汚れの程度を表す代表的な指標。数値が高いほど、汚れが大きい。

※2 BOD (生物学的酸素要求量) とは… 川の汚れの程度を表す代表的な指標。数値が高いほど、汚れが大きい。

流入河川BOD (年平均値)



涸沼に流入する主要5河川の水質については、BOD^(※2)が涸沼川、涸沼前川、石川川で平成29年度よりも低下しました。



学校法人常磐大学智学館中等教育学校の取り組み

智学館中等教育学校は、中高完全一貫校として6年間を通じた課題発見・解決型学習 (PBL) を展開しています。生徒たち自身が課題を見つけ、その解決策を順序立てて考えるという取り組みを通じて、社会の中で自分たちがどのように活躍していけるかを意識できるようになることをねらいとしています。

2018年度は、茨城県で世界湖沼会議が開催されるという機会を捉え、学校行事Walking Dayで歩いた経験のある涸沼について調査することとしました。PBLで身につけたスキルを活かし、有志3グループがそれぞれ「涸沼に根ざす新たなご当地メニューの開発」「上質な涸沼シジミの特徴」「涸沼を中心とする水運は、近世の周辺地域社会にどのような変化を与えたのか」というポスター発表を行い、多くの方々からご意見や質問を頂ける良い機会となりました。



新ご当地メニュー開発では、有名な涸沼シジミをはじめとする近隣の食材を活用したスナックを考案し、今年度も継続して研究・開発に取り組んでいます。また、その涸沼シジミは他のシジミとどのように違うのか、大きさや重さなどの数値を計測したところ、涸沼シジミの殻には黄金比と白銀比があるという特徴を発見しました。さらに、江戸時代にはその豊かな自然環境を活かして、どのようなワイズユースがなされていたのかを調べ、東北地方と江戸を結ぶ結節点としての海老沢河岸の重要性や川崎八右衛門の活躍を知ることができました。



Q 2. 涸沼には伝統的な魚釣りの和竿があります。その名前は？

A 2. 涸沼竿 (ひぬまさお)

クリーンアップひぬまネットワーク事業のお知らせ

◆ 第19回 ひぬま環境フォーラム



日にち 令和元年11月24日(日)

場所 いこいの村潤沼(銚田市)

内容 **第1部** 水質浄化ポスター入賞者表彰式
第13回ひぬまフォトコンテスト入賞者表彰式
令和元年度水質浄化活動功労者の表彰式
第2部 水質浄化啓発運動(是非御参加ください。)

内容については、
当ネットワークのホームページを
御覧いただくか事務局まで
お問い合わせください。



「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加しています

クリーンアップひぬまネットワークでは、イオングループが実施している「幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加しております(登録店舗:イオン笠間店)。このキャンペーンは、毎月11日にレジ精算時に受け取った黄色いレシートを、地元ボランティア団体など応援したい団体の投函BOXへ入れると、お買い上げ金額合計の1%がボランティア団体などに品物で寄贈されるものです。

令和元年度は、軍手を贈呈いただき、今年の「ひぬま流域クリーン作戦」(7月13日実施)で活用させていただきました。

御協力ありがとうございました。



御協力ありがとうございました。
今後ともよろしく願います。

読者プレゼントクイズ

6			2	8		5		<input type="checkbox"/>
		3			4		2	9
	2	4		5		8	<input type="checkbox"/>	
2			8			9		5
	<input type="checkbox"/>	9		4			3	8
	5				2	1	<input type="checkbox"/>	
9		5		2		3		7
		2	9	7			5	
	6				3		9	

「ナンバーナイン」に挑戦

タテの各9列・ヨコの各9行・3マス×3マスの各9ブロックに1から9の数字が重複しないように入ります。4つの に入る数字の合計はいくつになるでしょうか。

正解者の中から抽選で5名の方に「オリジナルエコバック」を、10名の方に図書カード(1,000円分)をプレゼントします。たくさんの御応募をお待ちしております。

【応募方法】

郵便はがきに、「クイズの答え・住所・氏名・電話番号・メッセージ」を御記入のうえ、下記のネットワーク事務局までお送りください。当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※ 令和元年 11月 15日(金)の消印有効です。

★前回の解答…ネットワークだよりVol.39ナンバーナインの答えは「34」でした。87通の応募があり、うち正解は82通でした。たくさんの御応募ありがとうございました。

オリジナルエコバック



読者の声

～みなさまから寄せられたメッセージを御紹介いたします～

★60年前は家族総出で牛車に乗って、潤沼でシジミとりに行きました。秋の月には家族連れで来ている牛車が何台もいてにぎわっていました。潤沼の水の中には砂利を播いたようにシジミがいて、あっと言う間にカマスに一杯のシジミが取れました。このような潤沼が汚染されるのは悲しいし、昔が思い出されます。

★子どもの頃クリーン作戦で潤沼川周辺のゴミ拾いをしました。今でも、きれいな潤沼をめざして、食器の汚れを

ティッシュでふいて洗う、食べ残しや飲み残しを排水溝に流さないように心がけています。

★いつまでも、川で魚取りができるきれいな川にするために、ポイ捨てをせずまわりのゴミ拾いを行い魚の住める環境づくりをしていきます。

たくさんのメッセージ
ありがとうございました



■ 発行:クリーンアップひぬまネットワーク事務局

〒310-8555 水戸市笠原町978-6(茨城県県民生活環境部環境対策課内) TEL 029-301-2968

